

質問者



植田 喜晴 議員

**問** 町道西古泉筒井線（全幅15メートル・歩道付・水路併設）建設目的の防災と地域内道路の混雑緩和は、その計画ルートにある町道の利用と踏切やその近辺の道路の改良・整備で十分対応できる。踏切以南は新たな道路は不要で、財政難の時に新道の建設は必要ない。

**答** 町道西古泉筒井線（全幅15メートル・歩道付・水路併設）建設目的の防災と地域内道路の混雑緩和は、その計画ルートにある町道の利用と踏切やその近辺の道路の改良・整備で十分対応できる。踏切以南は新たな道路は不要で、財政難の時に新道の建設は必要ない。

筒井地区の浸水軽減には、流末の水路整備と義農ポンプの能力アップも必要である。新道建設の総事業費は、

# 全幅15メートルの新設道路はいらない！

## A 住民説明会で理解を得ながら推進します

説明会では、ルート、道路の構造や必要性等で見直しの意見が多く出た。この声に耳を傾け、計画の全面的な見直しを求める。

億円程度を見込んでいます。財源については、今年度新設される地域活力基盤交付金事業で採択されるよう協議中です。

**答** 過去の水路改修で浸水対策に一定の効果があります。しかし、本来の筒井地区の浸水対策にならないため、水路併設を計画しています。

義農排水ポンプは、新道併設水路の建設で流下時間が短縮され、若干の負荷がかかると思われる。実施設計の検討を行い排水能力のアップや筒井地区への流下配分の検討も考えています。全体の事業費は、約25

国の家庭用電気炊飯器活用支援事業があります。

一定条件を満たせば、炊飯器が無償貸与されますが、学校現場の課題が多いため、この事業の実施は困難です。

今後は、子ども、保護者、学校現場の意見を聞いて検討いたします。

## 問 住宅用太陽光発電設置に町補助を

政府補助金の1キロワットあたり7万円は、設備費用の1割程度であり不十分。新エネルギー対策の太陽光発電導入を促進し、設置費用の住民負担の軽減に、政府補助の1.1.5倍の町補助の実施を。

## 答 設置補助金を検討します

町は、水と緑の快適環境のまちづくりを推進しています。公用車へのバイオマス燃料使用、緑のカーテン事業など環境保全に力を入れていることから、住宅への太陽光発電設置に対する補助金の

町営住宅の建て替え計画の策定状況は。平成12年のマスタープランは、建て替えが必要な住宅を、宗意箱住宅に集約するとあるが、町内に分散させること。住宅の質の向上と同時に必要戸数の確保と、高齢者や障害者の専用住宅を確保すること。計画には居住者や町民の声を反映させること。

## 問 高齢者・障害者専用住宅を

町営住宅の建て替え計画の策定状況は。平成12年のマスタープランは、建て替えが必要な住宅を、宗意箱住宅に集約するとあるが、町内に分散させること。住宅の質の向上と同時に必要戸数の確保と、高齢者や障害者の専用住宅を確保すること。計画には居住者や町民の声を反映させること。

## 答 地域住宅計画を策定し反映します

平成18年に住生活基本法が制定されました。高齢者などの専用住宅、住宅の分散必要戸数の確保などは地域住宅計画を策定し、町民や住民のアンケートを行い、計画に反映します。



支給を検討します。